



第 6 回非鉄製錬学セミナー
Non-ferrous Extractive Metallurgy Seminar

クロール法スポンジチタン製錬法の技術開発と
新製錬法開発で得られた 3 つの現象

講師：山口 誠



株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
技術部 部長 兼 生産技術開発グループ長
技術士(経営工学)
E-mail: myamaguchi@osaka-ti.co.jp

□概要

京都大学、大阪大学での基礎的研究の後、日本で初めて大阪チタニウムテクノロジーズにて、チタンの工業生産が始まって 67 年が経過した。本講演では、クロール法スポンジチタン製錬法における熔融塩電解の生産性向上と省エネルギーについて説明する。またクロール法に代わる新製錬法の開発について概説する。東邦チタニウムと共同で取り組んだ JTS 法の実験で得られた興味深い現象の中から 3 つを選んで説明する。

□講師略歴

1981 年 3 月 京都大学工学部工業化学科渡辺研究室卒業
1981 年 4 月 大阪チタニウムテクノロジーズ入社
現在に至る

□日時： 2020 年 2 月 3 日(月) 15:00 – 16:30
□場所： 物理系校舎 112 講義室
□事前申し込み： 不要
□問い合わせ先： 材料工学専攻 非鉄製錬学講座 谷ノ内 勇樹
taninouchi.yuki.4c@kyoto-u.ac.jp